

平成27年度事業計画

平成27年4月1日～平成28年3月31日

<目的>

本財団においては、子どもの教育に関する調査研究を継続的に行い、家庭教育の支援や地域における多様な学習活動の支援を図り、子どもの「生きる力」をより一層育むための活動に取り組む。

この目的実現のため、「子どもの教育に関する教育支援事業」「子どもの教育に関する教育相談事業」「子どもの教育に関する教育研究事業」の3事業（10項目）において、これまで培ってきた知見、経験を活かし、社会の負託に応えるよう努めるものとする。また、公益事業拡大のために収益事業（不動産賃貸事業）、寄付金の募集を継続実施する。

<目標>

1. 進路発見支援、環境教育、国際教育等の活動継続、強化を通じて、子ども達の健全なキャリア形成に貢献する。
2. 社会が抱える課題に複眼的思考を持って対応できる人材の育成と、その指導者・支援者の養成に取り組む。
3. 日本においてグローバル教育の重要性が様々に叫ばれるなか、真に国際人として活躍できる人材の育成・指導法を研究する等、子ども達の「健全な育成」に関する研究を強化する。

各事業の詳細は、次の通り。

I 子どもの教育に関する教育支援事業

1. 進路発見支援事業

(1) 理科教育振興のための公開講演会

公益財団法人日本理科教育振興協会、お茶の水女子大学と連携し、政府の推進する次代の発展に寄与できる女性育成と理科教育振興のための公開講演会を開催する。第1回（5月9日予定）の特別講師は、お茶の水女子大学学長の室伏きみ子先生を予定。

2. 環境教育への取り組み

(1) 環境教育ポスターコンクール

地球温暖化など世界が直面する環境問題に向き合い、持続可能な社会づくりに貢献できる人材の育成を目的に、実生活の中で課題発見し、自調自考し、行動できる力を育む機会としてポスターコンクールを開催する。今年度は、海外からの応募拡大に向けた告知活動を強化する。

(2) 環境教育フォーラム

次代を担う子ども達が環境に対する関心を深め、環境保全活動参加への端緒となることを願い、ポスターコンクールのテーマをもとに「環境教育フォーラム」を開催する。

(3) 環境教育アワード

教育現場での環境教育への取り組みを調査し、環境教育で成果をあげている学校・団体・教育実践者を顕彰する。

3. グローバル体験支援活動

(1) 中高生のための English Day

真の異文化交流を目指し、日本の中高生と海外からの留学生とが、英語を通じてワークショップやレクレーションに取り組み、価値観を共有するイベントを開催する。(※)

(2) 英語スピーチコンテスト

中高生が自分の「夢」「家族」「海外での体験」などをテーマにしたコンテストを開催する。(※)

(※)…環太平洋大学、インターナショナル・パシフィック大学 (NZ) との共催、在日海外大使館の後援を申請

4. 自然体験活動

(1) 親子宿泊体験教室（「RING! RING! プロジェクト」JKA 補助事業 ※申請中）

小中学生の自尊感情向上、キャリア形成を図るために、高校生・大学生がリーダーとなって過ごす、グループワークを中心にした宿泊教室を開催する。また、参加者の成長について、専門家と研究し分析結果を教育機関等へ配布する。

(2) 自然体験イベント「大志の森」

子ども達の「自然やいのちを大切に思う心」を育むために、季節に応じた遊びや自然体験活動ができるイベントを開催する。

5. 不登校児童・生徒の学校復帰に対する支援活動等

(1) 東京大志学園の運営強化

子ども達の協同性、学びの主体性を向上させるためタブレット端末を中心とした ICT 教育を活用する。また、学力を担保するため個別プリント学習システム「eトレ」を導入する。昨年度、大阪校にて子ども達の柔軟な表現力を磨き、レジリエンス（精神的回復力）を高める活動として臨床実践を開始した表現プログラムを全国で展開する。さらに、神奈川県下において教室を新規開校する。

(2) WEB を活用した教育相談

保護者が専門相談員へ相談できる機会を増やし、引きこもり状態の小中学生に対する支援を強化するため、WEB を活用した教育相談を開始する。相談希望者

は、最寄りの教室から、専門相談員の待機する東京本校をつないだ WEB 相談を通じて、より専門性の高いアドバイスを受けることが可能となる。

6. 教育施設運営

(1) 高等学校通信制等

高等学校通信制課程に在学する生徒の「教育機会の充実」「学習機会の確保」等のために教育施設を運営する。また、この施設で学ぶ生徒の学力向上・社会性、その他進学や就職に必要な能力の修得支援を行う。

II 子どもの教育に関する教育相談事業

1. 講演会、進学指導説明会・相談会、相談会

(1) 乳児子育て支援

子育てに不安を感じる保護者のために、子育て支援勉強会を開催する。

(2) 教育相談研究会

現場で悩む若手教師のために、専門家や中堅教員から生徒指導手法や保護者対応方法を学ぶことができる研修会・事例検討会を開催する。

(3) 進路説明相談会・受験対策講座

高校進学を控えた中学3年生・保護者のために、高校へ進学した先輩から、受験に対するアドバイスや学校生活について直接説明を聞くことができる講座を開催する。

(4) 教育シンポジウム

すべての教育関係者、保護者のために、子どもの気持ちに寄り添った家庭教育の在り方や、子どもの健全な育成を考えるシンポジウムを開催する。

2. 人材養成研修

(1) 「先生の学校」プロジェクト

新任教員や教員を目指す大学生・院生を対象に、指導実績のある専門家の体系的な研修会を教育関連の施設にて開催する。主席研究員は、高濱正伸先生（花まる学習会代表）を予定。

(2) 学習心理支援カウンセラー

これまでの団体組織を対象とした資格研修制度に加え、個人受講や研修機会の少ない遠隔地における教育指導者の養成に資するために、e-ラーニング授業とスクーリングを併用した通信制による資格取得体制を新たに整備する。

(3) ピアアシスタント

仲間を主体的にサポートできる人材育成のために、高校生に対する研修、資格付与を行う。また、新たに中学生を対象としたプログラムを実証実験することで、年齢や立場に適応させた資格制度の整備拡充を図る。

Ⅲ 子どもの教育に関する教育研究事業

1. こどもの育ちを考える研究と実践活動

(1) 次世代教育研究所（仮称）

新たに日本が抱える社会的課題である「女性とライフコース」「衣・食・住」「グローバル化」等、次世代の教育に重要なテーマについて、日本を含む環太平洋アジア地域との協力・連携のもと、有識者で構成した研究所を開設し研究する。

(2) 教育支援研究会

小中学生に健全なキャリア形成を育む指導ができる教員を養成するために、個別支援計の立案方法や、自尊感情、表現力、コミュニケーション力を向上させる指導法を、専門家を交えて明確化する。座長は、奈良女子大学大学院教授の伊藤美奈子先生を予定。

(3) 実践活動・研究活動の成果公表

「子どもの教育に関する教育支援事業」「子どもの教育に関する教育相談事業」「子どもの教育に関する教育研究事業」についての活動成果・研究成果を紀要・刊行誌に掲載し広く社会に公表する。

2. 乳幼児指導者養成研修

(1) 乳幼児ケアヘルパー（初級）、子育て支援プロジェクトリーダー

乳幼児の健全な育成に関する効果的・実証的な開発カリキュラムに基づく指導者育成研修（講義、実習、試験）を行う。

IV その他目的を達成するために必要な事業

(1) 不動産賃貸事業

(クラーク高等学院静岡校、クラーク高等学院さいたま校)

(2) 寄附金募集

(公益目的事業の拡充のため)

以 上